

犠牲者を悼み「元寇記念祭」

元寇記念祭実行委員会

元寇の犠牲者を慰霊する「元寇記念祭」(鷹島元寇記念祭実行委員会)が8月30日、鷹島町の宮地嶽史跡公園内にある元寇記念之碑の前で行われました。

会場には、地元の各種団体代表者など約30人が参列し、玉串や慰霊の言葉を奉げるなど犠牲者の冥福を祈りました。式の最後には、小林大輔副委員長があいさつの中で「鷹島は時代を超えて平和と友好を願う島。先代の意志を受け継ぎ鷹島のこれからのために努力していきたい」と話しました。



大きく育ちました！

ジャンボカボチャコンテスト

松浦市青年農業者会主催による第2回ジャンボカボチャコンテストが8月31日、海のふるさと館漁村体験学習施設で開催されました。

5月中旬に市内の保育所・幼稚園にカボチャの苗が配布されました。今年は雨の影響で生育が難しく、8団体の参加となりました。

同会の浦上明彦会長は「今年は長雨の影響により出品数は少なかったが、昨年よりも記録が伸びました。来年も開催します」と話しました。

結果は次の通りです。

- ①慈光幼稚園
43.8kg
- ②鷹島保育所
38.1kg
- ③ひかりヶ丘保育園
38.0kg



まちの話題

Matsuura City Topics

はっけよい！のこった！

千灯籠奉納相撲大会

御厨町郭公尾地区の伝統行事である千灯籠奉納相撲大会が8月17日、同地区の御堂様前広場で開催されました。

この行事は、地区住民の親睦と子どもたちの健全な成長を願い毎年開催されています。

大会には、地元の幼児から中学生までの9人が参加。豆力士たちの熱のこもった取組に観客からは大きな声援が送られました。

取組が終わると1年間の健康を願い、「力飯」と呼ばれる大きなおむすびが子どもたちと観客に振る舞われました。



地域へ音楽の贈り物

松浦ウインドオーケストラ

松浦ウインドオーケストラ(浦順平団長)の第7回定期演奏会が8月17日、文化会館で開催されました。

第1部はシンフォニックステージとして吹奏楽本来の音楽を、第2部のゲストステージでは、平戸市立田平中学校と県立猶興館高等学校吹奏楽部との共演により、総勢約80人による大迫力の演奏が場内に響きました。

また、第3部のポップスステージでは、吹奏楽の人気曲「ディスコ・キッド」やテレビドラマ「JIN-仁-」のメインテーマなどの馴染みの曲が演奏され、観客たちは迫力ある素晴らしい演奏を楽しみました。



MFU マイスター認証受賞

(株)エミネントスラックス

『MFUマイスター(技術遺産)認証』を受賞された株式会社エミネントスラックスの眞弓隆治相談役と前田周二社長が9月11日、受賞報告のため市役所を訪れました。

この賞は次世代に伝承すべき高度な技術、見識を持つ技術者に贈られるもので、ベストドレッサー賞などでも知られる一般社団法人日本メンズファッション協会(MFU)が実施しています。九州の個人認定はお二人が初めてです。

眞弓相談役の「もの言わぬ ものがもの言う ものづくり」の信念とお二人の卓越した知識と経験が品質

第一にこだわる日本一のスラックス工場を支える大きな柱となっています。



百歳の誕生日をお祝い

高橋ムラさん

高橋ムラさん(鷹島・阿翁浦)が9月2日、100歳の誕生日を迎えました。

高橋さんはご主人を戦争で亡くした後、港湾や道路の工事現場などで働きながら、畑で野菜を作るなど、女手一つで2人の子どもを育て上げました。家では今でも料理を作っており、好き嫌いをなく何でも食べることが長寿の秘訣ということです。

この日は、家族に囲まれ、友広市長からお祝いの言葉や花束を受け取りました。



市民の生命を守るために

船舶避難輸送協定調印式

9月12日に松浦市は鷹島汽船有限公司(坂本学代表取締役)と有限会社金子廻漕店(金子義美代表取締役)との間で「災害時における船舶による輸送等に関する協定」を締結しました。

この協定は、原子力災害や自然災害の発生時など、離島住民が緊急に避難する必要が生じた場合、船舶による輸送業務に関して協力を要請するものです。

友広市長は「市は市民の安全安心を守ることが最大の責務。今回の協定は離島住民の安全確保、防災対策への大きな前進。今後も防災対策に努めたい」と話しました。



月明かりでお茶を楽しむ

松浦茶道連盟

松浦茶道連盟(三宅宗瑠代表)主催による「第3回観月の茶会」が9月7日、文化会館イベント広場で開催されました。

中秋の名月を眺めながら、日本の伝統文化である茶道を身近なものとして気軽に楽しんでもらおうと開催。この日参加した約300人の市民は、茶道連盟会員がたてた抹茶を味わいながら、雲間から垣間見える月を眺めて秋の夜長を楽しみました。

